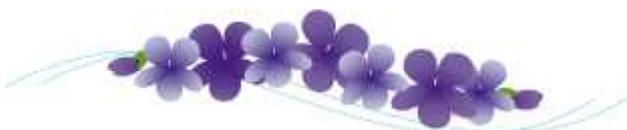


# SSKS 風の子便り

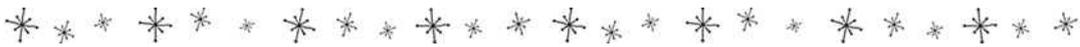
ひとりぼっちの障害者をなくそう



## 目次

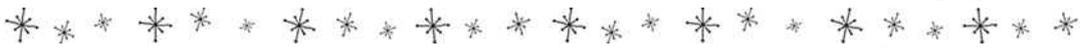
- ☆虫めがね・・・・・・・・・・ 2
- ☆虫めがね2・・・・・・・・・・ 3
- ☆フレンド学園感想・・・・・・・・ 4
- ☆寄付のお礼、スケジュール、クイズ・・・・・・・・・・ 5
- ☆小野塚連載・・・・・・・・・・ 6
- ☆岡本連載・・・・・・・・・・ 7
- ☆太田連載、活動報告・・・・・・・・ 8
- ☆歌踊り、クイズ解答・・・・・・・・ 9
- ☆学習会・・・・・・・・・・ 10
- ☆夕会・・・・・・・・・・ 11
- ☆編集後記・・・・・・・・・・ 12





僕の、おふくろは80歳。みんながよく知っている、芝大門で桜寿司の母ちゃんです。  
今は、風の子会で僕と一緒に楽しく手の運動をしています。  
キューピー人形を作ったりメモ帳、ビーズ作りをしながらがんばってる自慢のおふくろです。  
風の子の会報に大勢の皆さんの名前を見つけて元気をもらってます。  
これからもよろしく。

松本恵司、成子



## 虫めがね ~お世話になったあの人へ~

私がこの世に誕生してから今までに数え切れないほど色々な人々に出会いお世話になって来たが、幼い頃から重度障害（全介助）を背負いながら生きるという事は辛い事もあった。

私の母親が91歳という長い人生を終え、昨年1月30日（月）に老衰で急死した。母親の子供は私一人だったのと、最近10年間くらい会ってなかったので非常に悲しくて涙も出なかった。その母親からは小学校の頃からスパルタ教育を受けた。例えば学校から家に帰ると宿題をやらされ、それが終わるとリハビリをやり、ちょっとでも気を緩めると厳しい言葉で怒られたり殴られていた。これが愛の鞭かもしれない！ 家から一歩、外に出れば人が変わった様に「すごく優しくキレイでいいお母さんだね!」と友人や周囲の人から言われた。私は「そんな事は無い家の中では厳しく鬼婆だ!」と言い返しても信じてくれる人は少なく悔しかった。

しかしそんな母親のお陰で現在の自分に忍耐力等が自然と身に付いていた様だ!これはすごく有難い事だと心から感謝したい! 有難うございました!そして天国から私達を見守っていて下さい!

幸 高史



僕は人ではないのですが、お世話になったのはつい先日の3月16日に亡くなったうちの犬（ジョン）です。18歳と6ヶ月弱と、人間年齢換算すると90歳手前まで生きてくれました。僕が12歳の頃に飼い始め、障害を持つ前も持った後も知っているという僕の半分の人生は一緒に過ごしました。

僕の布団の上で一緒に寝たり寝ている所を起こされたり、発作等で倒れたりなどしていると吠えて周りに知らせたりもしてくれました。

時には遊び相手に、時には癒しを与えてくれる相手になってくれました。

周りの家の人を始め、犬の散歩仲間や通学途中の人たち、クラスメイトに至るまで色々な方々に愛されていました。

大きな病気・怪我もなく、あまり太らずしっかりとした体躯・毛並みのまま歳を取っていき、今際の際に立っても苦しむこと無く居たので本当に寿命なのかと疑うほどでした。だから、ジョンにとってもこちら側にとっても幸か不幸か、死に際を誰にも看取られること無く亡くなりました。

長きに渡り、大変お世話になりました。

田村 亮彦



# 虫めがね～お世話になったあの人へ～

私は高校の数学の先生と体育の先生と美術の先生にお世話になりました。友達もでき先生達も増え毎日が楽しくなりました。授業もゆっくり教えてくれるので楽しかったです。

ちなみに私は生徒会副会長と放送委員会に入っていました。先生と友達のお陰で楽しくなりました。

私と友達は放送委員で先生の提案で放送室から放送を試みたらどうかと言われて、放送を流す事になったは良いのですが、私は高校生の時はあまり喋らなかったので凄く緊張しました。

私は高校に入るまで暗かったのですが、高校に入ってから「何事にもまずはチャレンジだ」と数学の先生に言われてから私の中で積極性が出て来ました。

また、その数学の先生に洋服をかけやすいようにハンガーを作ってもらいました。

体育では、ハンドサッカーと言うスポーツをやりました。

そこで、ハンドサッカーに熱い体育の先生に出会いました。それで3位に入賞する事が出来ました。

美術の先生は女の先生です。その先生は生徒会も兼任してました。でも私はとにかく叱られた覚えしかありません。なのであまり叱られないよう気をつけてました。

私は、高校に入った時甘い考えていました。なぜかと言うと最初、授業で使う筆箱を落としてしまい、先生に取って下さいと言ったら取ってくれませんでした。筆箱は友達が拾ってくれました。

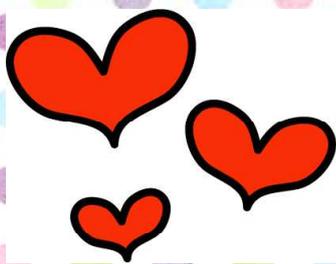
その美術の先生は私が右手を使えば使う程動くと言う事を私に言いたかったんだと思います。つまりもっと私に「右手を使いなさい」と言いたかったんだと思います。

他にも、城南で運動会があった時に綱引きの綱を出すのを手伝ってくれました。

先生達から学んだ事は「色々な道具があるから活発に使って工夫してこれからも人生楽しく生きる」と言う事だと私は思っています。

その先生達のお陰で今の私がいます。

塚田 愛基



僕が思う『お世話になった人』とは、高校（城南特別支援学校）時代に担任だった津留先生です。なぜかと言うと、卒業後の進路にあたり、地域の作業所ではなく夜間高校へ行こうと思い、先生に相談をしたところ、応援を下さり学校への問い合わせや僕と何校か見学をしに回っていただきました。その際、エレベーターが設置していない学校では、僕を抱きかかえてくれたりおんぶをして階段の上がり下がりをしていただきました。ですが、その時代の学校長とトラブルがあり、夜間高校を断念しました。

その後は、放送大学へ入り二三歳の頃から風の子会に入会をし、今も楽しく活動をしています。今でも、津留先生とはクラス会でお会いしたり、年賀状のやりとりをしています。先生、ありがとうございました。

田中 聡

# フレンド学園感想

3月12日に実習に来たフレンド学園の方々から感想をいただきました。

何から何まで初体験でした。大人用の大きな車椅子、介助車、食事介助など、どれもこれも貴重な体験で、難しく、ですがとても勉強になりました。

遊びに来たも同然な態度で、今思っても不敬でした。すみません。ろくにお手伝いできないのに、寧ろ邪魔な私に、いろんな事を教えていただきました。ありがとうございます。

暖かく受け入れてくださった皆さま、感謝でいっぱいです。

いつか今回の体験が生かせたら、と思います。

迷惑かとは思いますが、いつかまた、お邪魔させていただきます。

松本成子さんのお話、また伺いたいです。

松本恵司さんの巻頭文が気になっています。

和栗さん、食事介助が下手ですみませんでした。

小野塚さんのノリが大好きです（笑）

職員の皆さま、特に、企画にいらした岡本さん、石田さん、丸山さん、お世話になりました。（丸山さんに至っては送迎から食事介助まで）ありがとうございます。

佐藤路子

先日は、とても貴重な体験をさせていただき、ありがとうございます。

車椅子を押したり、お食事のお手伝いをさせていただいたり、慣れないことに戸惑っていましたが、みなさまがとても温かく私たちに接してくださったので、何う前に抱いていた不安が消えて、本当に楽しい時間を過ごすことができました。

一日という短い時間でしたが、私は、明るく和やかな雰囲気ของ皆さまが大好きになりました。もし、ご迷惑でなかったら、また伺ってみなさまのお話をもっとたくさんお聞きしたいです。

お忙しい中、私たちに優しく教えてくださった施設の皆さま、笑顔で私たちに話しかけてくださった皆さまに感謝の気持ちでいっぱい입니다。

季節の変わり目ですので、みなさまお体にはお気をつけてくださいね。

森田日菜子

今回、ボランティア体験ということで、風の子会高浜生活実習所にお伺いさせていただきました。私は今まで知的障害の方と接することが全くなかったので、初めはとても戸惑いましたが、皆さんが温かく私たちを迎え入れてくださり、緊張がほぐれました。今回の体験で様々なことを学ばせていただきました。その楽しかったことや、大変だったことをこれからの人生に生かしていきたいと思ひます。

山本琴美



賛助会にご賛同して下さった方  
反町 美佐子様

寄付をくださった方  
朝生 孝之様

ご協力有り難うございました。



寄付のお礼



## スケジュール



外に出よう	全体集会	5月18日
	本番	5月26日
	予備日	6月2日
	総会	6月15日
歌と踊りの集い		7月6日



## Ryo's エニグマルーム

Q1, サイコロを1回ふって、3が出るのは、6分の1の確率である。2回連続で3が出るのは36分の1の確率であり、3回連続で3が出るのは216分の1の確率である。

さて、今3回ふって3回とも3が出たとすれば、次にふる4回目に3が出る確率は何分の1だろう

Q2, ものぐさな男がいて、ソファに座ったまま全ての所に手が届くように部屋を改造してしまった。マジックハンドや釣竿、強力磁石まで用意して万全の体勢だと思ったのだがこれでも腰を上げないと手の届かない所があるそう。それはどこか。

Q3, ジョーカーを除いた52枚の1組のトランプがある。この52枚をよく切って、26枚ずつの2つの山(A, B)に分ける。このとき、Aの中の黒いカードの枚数と、Bの中の赤いカードの枚数が、ぴったり同じになるというような事は、1000回の内、何回起こると考えられるか

Q4, 流れの速さが毎時1キロメートルの川をさかのぼっている舟から、正午の時報と同時に帽子を落としてしまった。引き返し始めた時には、舟は帽子から100メートル上流のところだった。すぐに引き返して帽子を追いかけた時、追いつくのは12時何分になるだろう。何分かということを書いてほしい。この舟の速さは静止した水の上で毎分20メートルである

## わたるのドミトリーライフ

【ドミトリーとは英語の dormitory つまり寮という意味】

### 第53話 Introspect Myself “ Part - 8 Monologue or Dialogue ”

店内の賑やかさは僕に多少の嫌悪感を与えたが、それを無視して飲み続け、煙草を吸い続けた。つまみにはあまり手をつけずアルコールばかり流し込んだせいかわの軋みは増し、頭痛も少しずつ感じ始めている。そんな状況で思考を続ければネガティブなスパイラルに陥ってしまうのは目に見えているのだが、そうせずにはいられない。

キイチと付き合っていたトモが別れ、イチと付き合い始めた。僕はそのプロセスを全く知らず、全く気づかずにトモやイチと接していた。別れたキイチは当然のこととして、トモと同輩で僕と同部屋に住んでいるヒロセ、あるいはトモと仲のいいキクチやタクも知っていたのだろう。けれども僕は知らなかったし、気づかなかった。知らずに、気づかずにいるまま、僕はトモと接していたのだ。

こんな僕に、誰かを好きになる資格があるのだろうか？

「わっかんねえよ！」何度目になるのかわからない遠吠えを吐き、何杯目になるのかわからないウーロンハイを飲み干した。

「なにか、悩みごとでも抱えてるみたいだけど？」隣に座っている若いカップルの、男の方が不意に声をかけてきたので僕は思わず彼を睨みつけてしまう。障害者が一人で飲み屋に入り込み一人で管を巻いている。そんな状況を気にかけてくれたのだろう。よく見ると、身なりもきちんとしたサラリーマンだし、隣にいる女性も綺麗な髪で洒落たスーツを着こなしているOLだ。「まあ、ちょっとした恋の悩みってやつです」睨みつけてしまった詫びと共に、今現在僕自身が抱え込んでしまったことについてつい洩らしてしまう。普段の僕なら、見ず知らずの相手に突然こんな話をしてしまうなんて絶対にあり得ない。けれどもこの時の僕は普段の僕ではなかったし、こんな僕を気にかけてくれた二人のやさしさが嬉しかったのだ。

「あの・・・もし、仲の良い親友と、思いを寄せている異性が付き合うことを知ってしまったら、その男はどんな気持ちになると思いますか・・・？」仮定形の話にしてはいるが話の本質がどこにあるのかは明らかな問いかけだ。けれども二人は真剣に受け止めてくれた。「そりゃあまあ、その彼は落ち込むだろうなあ」「でも、その親友だって彼に知らせるのに戸惑ったと思うな。だって親友なんだから」「けどさ、突然知らされたら、その彼が傷つくのはわかるだろ」「でも、好きになってしまうのはしょうがないじゃない」。確かにそうだ。好きになってしまうのは、仕方のないことなのだ。

「ねえ、その彼はその異性にちゃんと思いを伝えたのかな？」OLが僕に訊ねる。仮定形での話を続けてくれる心遣いが嬉しかった。「ちょっと前に告白したそうです」ウーロンハイをさらに追加しながら、トモへの告白のあらましを簡単に話す。話し終えてふと気づく。ここまでのこの一連の展開の情けなさに我ながら呆れてしまったのだ。そんな自分を滑稽に感じ、少し笑い、そして少し目が潤む。「僕みたいな男は、人を好きになっちゃいけないんですかね・・・？」慌ててそれを手で拭いとりながら、行き場のない感情をどこかにぶつけるかのように吠えた。

「君は、相手に思いを伝えたんでしょ。それは、とても意味のあることだと思うな。自分の中でいろいろ考えてるだけじゃ何も始まらないし、何もわからない。今は、君はとても落ち込んでるかもしれないけど、あとになってみたらきっといい経験になってると思うよ」僕を目をしっかりと見ながらOLは言う。「まあ、そんなことができるのも若いうちだけだ。よくやったよ」男が僕の肩をたたきながら言う。

涙が、とめどもなく流れ落ちた。

“ To Be Continued... ”

風の子便り連載

岡本 明

バリアフリーよもやま話 第19回 「ちょっと気づかないこと」

何年か前のある日、私は目の不自由な友人と並木道を歩いていました。初夏の柔らかな木漏れ陽が気持ちの良い道でした。「いい天気だなあ」と言うと、私の肩に手をかけて歩いていた友人が「でも俺にはちょっとこの道は怖いな」と言うのです。彼は全盲ですがわずかに光は感じます。陽の光が木の葉で遮られると目の前にちらちらと黒いものを感じて、物が飛んできたように見えるんだそうです。目が不自由な人にはいろいろ不便なことや困ることがあるとは想像していましたが、この話は私には思いもよらないことでした。そうか、そんなこともあるんだと思って、他にも、目が見える人にはちょっと気がつかないようなことがあるかどうか聞いてみました。いくつか教えてくれましたが、結構困るのがバスなどの列だそうです。何人かが並んでいるらしいことは雰囲気分かるが、見えないので、どこが列の最後尾なのかが分からない。適当に列のそばに行くと、たいていは親切な人が自分の前に入れてくれるけど、実はその列はとても長い列だったのだ、とあとから知ると申し訳ない気になる、とその友人は言っていました。



逆に、見える人には気がつかない良いことってあるのだろうか、と聞いてみたら、「点字だと、寒いとき手を出さなくて、コタツの中で読めるな」なんて言っていました。別の友人は「女性がみんな美人だと思える」ということでした。その人の奥さんは「主人の目が見えるようになったら私の顔を見て逃げ出すでしょうね」って笑っています（とてもきれいな人ですが）。

耳が不自由な人の場合にはどうかというと、「ほぼ満員のエレベータには乗らない。自分が最後に乗ったとき、重量超過ブザーが鳴ったらしいけど、聞こえなかったので白い目で見られたことがある」という人がいました。確かにあの警報はブザーだけなので聞こえない人には困りますね。

聞こえない人の言葉として手話がありますが、暗いところだと手話が見えなくて苦労するそうです。また、「ややこしい言い方や、二重否定などの複雑な言い方をされて、慣れない手話通訳者がそのまま手話で表すとなんだか分からなくなる」ということです。たとえば、親切にされてとてもうれしかったとき「こんなにうれしいことはありません」などといいますが、これをそのまま手話にしてしまうと「うれしいことはない＝うれしくない」となってしまいます。これではせっかく親切にしたのに、と怒ってしまいます。手話通訳者は意味をとって「とてもうれしい」と訳さなければなりません。長嶋茂雄さんの「ネバーギブアップしない」ではありませんが、「まあ、分からないこともないではないが・・・」なんていうのは、手話通訳者も困ります。これもちょっと気がつかないことですね。

私の友人は手話の良いところとして、「手話なら、どんなうるさいところでも話せる、飲み会などで席が離れた人とでも話せる、などたくさんある」と言っています。

さて、車いすに乗っていて、普通ではちょっと気がつかない良いことって何でしょう。



月曜日、僕は早くから起きて電話を待っていた。妹は言う。

「お兄ちゃん今日はどうしたの、落ち着かないじゃないそわそわしちゃってさ」

その朝僕は六時頃から目が覚めてしまい、ひたすら電話を待ったのである。

太田 稔

僕の生い立ち  
〜第二十話〜

## 活動報告

**3月10日 高浜荘で避難訓練がありました。ボクは三木さんと参加しました。職員さんは山名さんです。**

一昨年に起きた地震の話をしてました。地震が来たら慌てないでください。まず、テーブルに隠れて揺れが収まるのを待ってください。

皆さんでご飯作りをしてました。電動リフトの実験を3階の階段で行いました。メガネをかけた男性が電動リフトに座って女の人が動かしてました。最後は山菜ご飯を食べました。灯りの実験もしてました。

**3月12日 風の子会にフレンド学園の学生さん達が来ました。学生さんの一人は企画室にいました。松本恵司先輩がパソコンしている様子を見学してました。恵司先輩はニコニコしてました。太田さんは学生さんと一緒に食事をしてました。太田さんも大喜びしてました。介護の勉強をして、立派な大人になってほしいと思います。**

**3月30日 風の子のみんなで桜を見に行きました。桜は満開でした。品川区民公園へ行きました 風の子のみんなは大喜びしてました。桜は風で飛んで道に落ちました。ピンクの道が綺麗でした。来年も行きたいと思います。**

柳川 敬事



# 歌踊りボランティア募集!

今年も歌と踊りの季節がやってまいりました。今回風の子では、演劇をやることとなりました。つきましてはお手伝いをして下さるボランティアさんを募集しています。

日程は7/6(土)です! 基本的に水曜・土曜が練習日となります。  
詳細は風の子会の方へお問い合わせ下さい。  
勿論、本番のみの参加でもOKです!

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

風の子会一同



## クイズの解答



A 1, 6分の1 (ふるのが何回目であろうと、その回に3が出る確率は、一回ふって3が出る確率と同じ6分の1である。4回連続で3が出る確率と、4回目に3が出る確率を混同してはいけません)

A 2, ソファの座っている所 (座っているソファの下では、腰を上げないと手が届かない!腰を上げるといえば、ふつう立ち上がることだが、高いところのものなら道具で手に取れるだろう。)

A 3, 1000回 (52枚のカードの中に、赤いカードと黒いカードはそれぞれ26枚ずつある。Aの中の赤いカードは、Aの中の黒いカードの枚数だけ26枚にたりない。このたりない分の赤いカードはBの山の中に入っている。AとBの山の中の赤いカードと黒いカードの枚数は、常に一致するのである)

A 4, 10分 (川の流れは帽子に対して舟に対しても同じなので、川の流れは完全に無視して静止した水上と同様に考えればいい。帽子と舟の距離が100メートル離れ、それから0になったのだから、毎分20メートルの速さで往復200メートルを移動したと考えられる。所要時間は10分である)

# 学習会報告

三月一三日：前半はガーデニングで、四つのプランターを買ってきて二つは野菜でもう二つは植物を植えました。障害者は普段土いじりをしたことがないので、新鮮に感じました。後半は英会話で日常会話で困らない程度の英会話を学びました。



三月二七日：前後半二時間を使って討論会をしました。今回のテーマは、『今の作業内容で満足か』企画部は、ほぼ満足との回答が多かったのに対し、工房部は少し物足りない、内職作業が早く終わってしまうと何をすればいいのかわかなくて悩んでしまうという意見が出ました。それに対し職員は、「やりたいことがあれば何でもやっていい。それが風の子だし職員は止めない」と解答していました。



四月三日：前後半二時間を使って鯛焼きの予定でしたが専用の器具が見つからなかったため、どら焼きに変更しました。作り方はホットケーキのようにホットプレートに生地を流し込み焼き、好きな具を挟むだけです。

四月十日：前後半二時間を使って演奏会をしました。というより楽器に触れてリズムをとってみるという方が合ってるかもしれません。普段は演奏を聴くことはあっても楽器に触れることはないため、みんな目を輝かせて音を鳴らしていました。

因みに楽器は、フルート・トロンボーン・オカリナ・小太鼓・リコーダー等です。特に金管には苦戦していました。

担当・三木

# 夕会便り

（三月二日土曜日 キャッチコピーについて）

五月二六日に行われる、外へ出ようの行く場所は？山ノ手線沿線を各グループが、好きな駅で自由に降りて、散策をすることに決めました。それに使うキャッチコピーをみんな考えてました。

担当  
担当  
担当



昨年の外に出ようより～



（三月十六日土曜日 お花見と旅行について）

桜が綺麗に咲いたので誰からともなく、お花見に行きたいとの希望が出たので、ボランティアさんが集まったら車であっという間に遠くへ行き、集まらなかったら近くへ行くという事に決まりました。



お花見  
@ 鈴ヶ森公園

（三月二十三日土曜日 お花見について）

三月三十日が雨だったらば、お花見に行くことが出来ないのです、六本木ヒルズか、東京駅KITTEか、江戸資料館へ行くことになりました。九月の旅行の日程もみんなまで話し合い、九月の七日、八日に決まりました。行く先は草津温泉だそうです。



私は、日頃からケフィアヨーグルトを食べているおかげか花粉症の症状が出ていません。胃の調子を整えると免疫力が出来て予防・緩和されるみたいです。『まさかそんなことはないでしょう・・・？』と思う方は試してみてください。ここで一句「花粉症 ヨーグルト食べて 撃退す」但し継続することです。

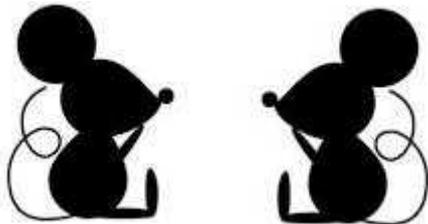


三木 直人

# 後編 編集 記

僕も大好き、皆も大好き東京ディズニーランドが、開業三十周年を迎えることになりました。オープンした頃に、近所の方たち数百名と楽しんだり、家族や友人と一年に一回遊びに行きます。『スターツアーズ』がリニューアルしたり、パレードも一新して、ゲスト（お客様）を楽しませてくれる所です。こういう事を書いていたら、今すぐにも行きたくなる僕の心境です。

サトちゃん



先日タクシーに乗ったときに運転手に「今でも馬券買いに行ってるんですか？」と突然聞かれて驚いた。確かに数年前はよく馬券を買いに行っていたが、まさかその様子を見て覚えていた人がいるなんて思いもよらなかつたからだ。けれども考えてみれば、茶髪でロン毛で派手な電動カーで街を闊歩していれば目立つのは当然だ（目立とうという思いは全くないのだけれど）。下手に悪いこと（？）はできないかと改めて思った。

小野塚 航

## ひとりぼっちの障害者をなくそう 特定非営利活動法人・風の子会 ～定価40円～

編集者  
吉柳三田佐太石  
田川木村久田神  
間  
久敬直亮 一  
代事人彦庸稔郎

和幸右松田小太  
栗 田本中野田  
頭 塚  
太高磨恵 圭  
郎史子司聡航子

編集人：【高浜生活実習所】  
生活介護、就労継続支援B型

〒108-0075  
東京都港区港南1-1-27 カナルサイド高浜3階  
TEL 03(3474)9674 FAX 03(3474)9213

ブログ：<http://kazenokokai.blogspot.com>

発行人：障害者団体定期刊行物協会  
東京都世田谷区砧6-26-21

